



北海道真狩高等学校

有機分会

北海道虻田郡真狩村字光 6

地域資源を活用した生物の力で持続可能な作物生産の研究 ～炭素循環における無肥料栽培の科学的検証～



【循環してできたサツマイモ】

私たちは「自然豊かな真狩の農村風景を残したい」という想いで、持続可能な社会を地域で実現するために「自然の中で植物が育つ仕組みを地域資源で再現した農業生産」を科学的に取り組んでいます。

そのために地域で産業廃棄物となるきのこの廃菌床ともみ殻を農家や企業から寄与していただき、混ぜたものを畑の上に敷くだけでサツマイモを無肥料と無農薬で栽培しました。このポイントが糸状菌と炭素資源と植物の循環で、収量は全国平均以上となり、収穫の容易さや収穫後の洗う必要がないことなど経営面に大きなメリットがありました。

この活動を主体とした事業を真狩村が提案し、「ふるさとHプログラム」に認定されるなど地域と共に進めています。